

## 最初の祈り

導入：短い復習をしたいと思います。新約聖書の福音書と使徒の働きと使徒パウロの手紙について学びました。次はテサロニケ人への手紙第一と第二です。その後、牧会の手紙という手紙です。パウロによって書かれた手紙で、3冊あります。

### 1. テサロニケ

#### テサロニケ人への手紙第一

この手紙は西暦51か52年ぐらい書かれました。この教会はテサロニケという都市にありました。有名な港町で、200,000人口はユダヤ人と異教徒（いきょうと）でした。（はえたまち）栄えた街でした。手紙の目的は教会を励ますことでした。さらにパウロはイエス様の再びについて教えていました。

#### ラプチャーチャプター

#### テサロニケ人への手紙第一 4:1 3-18

#### テサロニケ人への手紙第二：

この手紙は第一のように励ました手紙ですが、パウロは質問を答えて、誤解を正しました。最初の手紙の後、誤解と問題がありました。この手紙にパウロは解決を書きました。

#### テサロニケ人への手紙第二 2:1 - 17

### 2. 牧会の手紙

#### テモテへの手紙第一

使徒パウロはテモテに牧師になる方法を教えました。手紙は教会組織（きょうかいそしき）と司教（しきょう）の任命（にんめい）方法が含まれています。使徒パウロは若い牧師としてテモテと一緒に旅行しました。

#### テモテ第一 1 : 2

#### テモテへの手紙第二

使徒パウロはローマ刑務所にいました。もうすぐに死ぬことを気がつきました。西暦67年に書かれた手紙で使徒パウロのさようなら手紙だと呼ばれています。

#### テモテへの手紙第二 1:1 6-17、4 : 6-8

#### テトスへの手紙

この手紙はテモテへの手紙第一のような漢字があります。使徒パウロは牧師になる方法を教えたテトスをクレタ島に行かれました。クレタ島の人々は大変な人です。でも、テトスは牧師として教会のレーダーたちを任命しなければいけませんでした。

## テトスへの手紙 1:5-16

### ピレモンへの手紙

ピレモンは使徒パウロの知り合い人でした。パウロのおかげで、ピレモンはクリスチャンになりました。ローマに住んでいた時、パウロはオネシモ出会った時、オネシモはピレモンから逃げ出した奴隸という事実が分かりましたので、この手紙を書きました。

## ピレモン 1:15-18

### ヘブル人への手紙

ほとんどの学者はこの手紙は使徒パウロによって、書かれました。キリスト教に改宗ユダヤ人への手紙です。この方たちはモーセの法律に従うことが必要だユダヤ人の宗教に戻ろうと思っていました。使徒パウロは、イエス・キリストがユダヤ教よりも優れていますを多くの点で証明しました。信仰の殿堂（でんどう）もあります。

## ヘブル人への手紙 11:1-3, 12:2

### 3。総書簡（そうしょかん）

#### ヤコブの手紙

信仰と働きはと共に存在しています。ヤコブは主イエス・キリストの弟さんだと信じられています。

## ヤコブの手紙 2:17-20

### ペテロの手紙第一

この手紙のテーマはクリスチャンの苦しみの答えです。手紙を書いた時、クリスチャンたちは大変な迫害を経験しました。

## ペテロの手紙第一 1:6

### ペテロの手紙第二

テーマは偽りの先生たちを注意することです。偽りのクリスチャンの教えは教会に広げました。

### ヨハネの手紙第一

テーマは偽りの先生たちを注意することです。偽りのクリスチャンの教えは教会に広げました。ペトロは同じです。でも、世界の誘惑の注意もあります。

### ヨハネの手紙第二とヨハネの手紙第三

同じです。偽りの教えを教会と家に入ることを許しません。

## ヨハネ第二 1:11

ユダの手紙

ユダの手紙のテーマは偽りの先生の注意することです。偽りの先生の破壊もあります。

ユダ 1 9-2 0

ヨハネの默示録

永遠の将来。